資料－１

訓　練　の　内　容

この訓練は、中央防災会議の提唱による「防災週間」（８月３０日～９月５日）の一環として、原則、関東大震災が起こった９月１日に毎年実施しているもので、国土交通省では今年も全国で実施するものです。

当整備局では、災害時に職員が迅速かつ適切に防災業務を遂行することを目的に訓練を行います。

訓練は、**９月１日、９時３０分に宮城県沖地震が発生し、管内全域で震度６強を観測し太平洋沿岸に津波警報（大津波）が発令されたとの想定**により、対策本部（各事務所等は対策支部）設置、**ヘリコプターの緊急発進・画像伝送**、協定締結先への応援要請、自治体への応援、**ＴＶ会議を活用した情報伝達**、**自衛隊とのヘリコプター画像情報交換**、防災広報等、**多くの訓練を１４時まで行う予定**です。

＜主な訓練内容＞

（１）非常参集訓練
（２）初動対応訓練
（３）第一報伝達訓練
（４）家族等安否確認訓練
（５）津波警報伝達訓練
（６）津波情報提供訓練（道路情報板）
（７）画像伝送訓練
（８）ヘリコプター「みちのく号」緊急発進、画像伝送訓練
（９）管理施設点検等訓練
(10) 地域情報収集・伝達訓練
(11) 防災エキスパート出動要請訓練
(12) 災害対策用機械の派遣訓練
(13) 自治体への応援訓練
(14) 協定締結先への要請訓練
(15) ＴＶ会議活用訓練
(16) 陸上自衛隊との情報交換訓練
(17) 応急復旧訓練(図上)
(18) 防災広報訓練

※１．当日の気象条件等により、訓練を中止もしくは訓練内容を一部変更する場合があります。
２．訓練内容は各事務所（支部）により一部異なります。